

国際人権法学会

第33回（2021年度）研究大会プログラム（暫定版）

日 程：2021年11月20日（土）・21日（日）

実施方法：オンライン開催（Zoom）

開催校：関西学院大学（幹事：望月康恵）

テーマ：新型コロナウイルス感染症と人権問題

問題意識

2021年大会は「新型コロナウイルス感染症と人権問題」を主題として、研究大会を開催します。周知のように、2019年に確認された新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の世界的流行によって、私達の生活は、ありとあらゆる領域で影響を被っています。その影響の大きさは「戦争」に擬えられたり、あるいは「百年の一度」の類に形容されたりするほどです。

この影響の中で、人権の在り方も大きく問題になっています。日本に関して言えば、大きな特徴の一つとして、戦後史を通じて大きな争点となってきた「緊急事態」が宣言されました。政府は、2020年3月13日に新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部を改正する法律を成立させ（法律第4号。3月13日公布、3月14日施行）、これに基づき、4月7日に7都府県に緊急事態宣言を行い、4月16日に対象を全国に拡大しました（全国的な解除は5月25日）。その後も感染症の流行に伴い、緊急事態は宣言・延長と解除を繰り返し、直近では9月30日に4度目の緊急事態が解除されました（2021年10月1日現在）。この「緊急事態」宣言に基づく諸措置は、移動の自由や営業の自由、私生活の自由など様々な人権制限を伴うものです。

他方、新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、公益と人権の対立といった比較的単純化された枠組みで捉え切れない広範な諸問題を提起してもいます。ウィルスを持ち込んだとされる人達への差別、とくに人種差別的要素を含むそれ、保護を要する人達の間での格差、とくに弱者への注目の不足、個人情報取扱い等の人権問題が指摘されています。さらには措置を行う統治側の体制も問題になっており、国会審議の在り方、行

政の非効率性、国と地方自治の関係といった諸問題、更には、専門家やマスメディア・SNSの役割などまで議論の対象となっています。これらの列挙は一例に過ぎませんし、相対的に新しい問題がある一方で、旧来からの構造的問題が顕在化しているものもあります。

目を世界に転ずれば、各国のコロナ対策及びそれが惹起する人権問題は、それぞれの国・社会の事情——流行の程度、ロックダウンの実効性、未知のウィルスへの対処方針の違いなど——を反映して様々です。全体としてみれば、現在、例えばワクチン調達の格差がそもそもあった経済格差・技術格差を背景に、世界的問題になっています。広範な人権問題の存在を意識して、国連やWHOは盛んに発信しています。他方、ちょうど国内統治の在り方問題になっているのと同様に、WHOの正統で透明性のある国際統治、コロナ禍における国際人権機関による実効的な履行確保などが盛んに議論されています。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行は学知の在り方にも影響を与え、大学や各種団体の集会の開催も中止や方式変更を余儀なくされ、この国際人権法学会も2020年大会は初のオンライン形式となりました。これは、一方で苦肉の策でありながら、他方で新たな討議の在り方を創造するものでした。その後、「COVID-19と人権」フォーラムが立ち上がり、2021年2月より継続的にこの問題を討議する場も設けられました。

新型コロナ感染症がもたらす人権問題への影響は、数日の研究大会で語り尽くせるものではありません。何よりも、我々は問題のただ中におり、全体を冷静に振り返るには不向きな状況にあり、将来改めて我々の対応が評価されることになろうかと思えます。しかし、年の一度の研究大会において、持続的に取り組むべき今回の課題について、現在、我々がどう行動しているのか・いかに考えているのかについて広く意見を共有し議論するのも大いに意義深いことだろうと思われまます。

今大会では、海外ゲストスピーカーとしてSpecial Rapporteur on the Independence of Judges and LawyersであるGarcia-Sayan Diego氏や、上記「COVID-19と人権」フォーラムでご活躍の諸先生にご講演・ご報告いただくなど、充実した内容となっております。奮ってご参加下さい。

第1日（11月20日） アクセス開始 9：15～

◆ 午前の部（9：30～12：15）

午前の部（1）（9：30～11：20）

1. 理事長挨拶（9：30～9：35）

江島晶子（明治大学、理事長）

2. 企画趣旨の説明（9：35～9：40）

寺谷広司（東京大学、企画委員会主任）

3. ゲストスピーカー（9：40～10：30）

座長：東澤靖（明治学院大学）

"The pandemic: access to an independent justice, main challenges"

Hon. Garcia-Sayan Diego

(Special Rapporteur on the Independence of Judges and Lawyers)

4. 基調講演（10：30～11：20）

座長：東澤靖（明治学院大学）、南野森（九州大学）

「新型コロナウイルス感染症と人権－医療へのアクセスにおける人権枠組に関する欧州と日本の議論－」

建石真公子（法政大学）

午前の部（2）（11：25～12：15）

1. 「不可視の人権侵害を可視化する－「人権法意識」試論」

根岸陽太（西南学院大学）（11：25～11：50）

2. 「『アントロポセン』時代における人権－環境問題としてのCOVID-19と生命権」

秋山肇（筑波大学）（11：50～12：15）

◆ 総会（13：30～14：00）

◆ 午後の部（14:00～17:30）

座長：東澤靖（明治学院大学）、南野森（九州大学）

午後の部（1）（14:00～15:40）

1. 「『緊急事態』と人権制約—コロナ対策の日仏比較」

奥村公輔（成城大学）（14:00～14:25）

2. 「公衆衛生上の緊急事態における被害者の保護—災害法の視点から」

徳永恵美香（大阪大学）（14:25～14:50）

3. 「UNHCRの新型コロナウイルス対応」

川内敏月（国連難民高等弁務官事務所（UNHCR））（14:50～15:15）

4. 「新型コロナウイルス感染症と人種差別」

師岡康子（東京弁護士会）（15:15～15:40）

（休憩・準備時間20分間）

午後の部（2）パネルディスカッション（16:00～17:30）

※午前の部（2）以降の個別報告に対する質疑応答も含みます。

第2日（11月21日） アクセス開始 9：45～

◆ 午前の部（判例研究）（10：00～12：40）

座長：谷口洋幸（青山学院大学）

1. 同性婚訴訟（平成31年（ワ）第267号 損害賠償請求事件、令和3年3月17日 札幌地裁）（10：00～11：00）

加藤丈晴（札幌弁護士会）

佐藤義明（成蹊大学）

2. 夫婦別姓訴訟（令和2年（ク）第102号 市町村長処分不服申立て却下審判に対する抗告棄却決定に対する特別抗告事件、令和3年6月23日 最高裁大法廷）（11：00～12：00）

寺原真希子（東京弁護士会）

塩生朋子（第二東京弁護士会）

川尻恵理子（第一東京弁護士会）

申恵丰（青山学院大学）

3. 「近時の裁判例における国際人権条約の扱い」

山田哲史（岡山大学）（12：00～12：40）

◆ 午後の部（国際・国内人権機関の諸活動）（14：30～16：40）

座長：田中俊（大阪弁護士会）

1. 「新型コロナウイルス感染症に関する国連人権機関における対応」

大谷美紀子（東京弁護士会、子どもの権利委員会）（14：30～14：55）

2. 「女性差別撤廃委員会の活動」

秋月弘子（亜細亜大学、女性差別撤廃委員会）（14：55～15：20）

3. 「日本の人権外交」

富山未来仁（外務省総合外交政策局人権人道課）（15：20～15：45）

（休息・準備時間15分間）

4. 討論（16：00～16：40）

会員へのお知らせ

1. オンラインでの研究大会の実施に関して

(1) 大会参加方法

① 国際人権法学会メールニュースで配信する専用フォームに必要事項を記入し参加登録をして下さい。

URL：後日お知らせします。

事前申込締切：11月15日（月）18:00まで

② 事前申込終了後、Zoomのアクセス先の記されたメールを登録メールアドレスに送ります（大会3日前11月17日頃）。受信が確認できない場合は、迷惑メールフォルダをご確認の上、事務局までご連絡下さい。

③ 当日は、メールのリンクよりご参加下さい。参加資格確認のため、入室前に、Zoomの表示名設定を「氏名（所属等）」としておいていただきますようお願いいたします。セキュリティの観点から、アクセスされた方の氏名（所属等）が確認できない場合には入室をお断りし、または退室をお願いすることがありますので御了承ください。

(2) 資料の電子配布について

昨年度の研究大会と同様に、報告レジュメ及び資料は事前ダウンロードによる電子配布をいたします。ダウンロードのためのURLリンクは、大会参加会員に別途御案内いたします。資料掲載は10月下旬より順次進めますが、遅くとも11月6日（土）には出揃い、大会終了翌日の11月22日（月）まで可能とする予定ですので、御活用・御協力ください。

2. オンライン懇親会等のご案内

1日目（11月20日）夜にオンラインでの懇親会を予定しています（大会報告等に利用するZoomとは別のプラットフォームになります）。また、オンライン懇親会会場は、大会期間中、「休憩室」として常時入室できるように設置する見込みです。詳細は確定後、会員メーリングリストにて別途御案内いたします。

3. 2021年度学会費（2021年10月～2022年9月）納入のお願い

2021年9月15日（水）に「会費納入のお願い」を会員の皆様に送付しましたので、以下の金額を確認の上、同封の赤色けい線の払込取扱票により郵便局でお支払いください。

年会費	一般会員 8,000 円	院生会員 5,000 円	名誉会員 4,000 円
	法人会員 30,000 円		

なお、学会費の未納分がある方には、該当年次が同封の「会費納入のお願い」に記入してありますので、お支払ください。学会へのご寄付にも払込取扱票をご利用いただけましたら幸いです。